

学校便り
足柄小学校

☆学校教育目標 「金太郎のような やさしく つよく たくましい子」
◎重点目標 「自分で考え 最後まで行動できる子」
※経営目標 「笑顔いっぱい足柄っ子」



あしがら

特別号 令和2年6月30日

おやま応援メッセージ ～6年生の作品～

感謝デー 小見山 碧

私は休校中に「感謝デー」を作りました。
毎日、お昼ご飯を作ってくれるおばあちゃん、野菜を育てて毎日のようにとってきてくれるおじいちゃんに向けて感謝を伝える日のことです。
少しでも、二人に楽な時間が増えるように、兄とお昼ご飯作りにチャレンジしました。思うように手が動かず、兄とけんかをしながらもなんとか作ることができました。毎日、作っているなんて、本当に大変だと思います。私は心のそこから、「ありがとう」が伝えられました。

花火のおかげ 小見山 凌空

花火を上げたニュースを見ました。そのニュースを見て、ぼくは、
(ぼくにも、できることはないかな。)
と思いました。そして、ぼくは、
(お手伝いをしよう。)
と思いました。
せんたくものを取りこんで、お母さんに、
「ありがとう。」
と言われて、うれしかったです。

ありがとう、医りよう関係者 北田 栞大

ぼくは、お父さんに全国で花火をやっていることを教えてもらい、テレビをつけてみました。すると、ニュースで、「コロナウイルス感染症の医りよう関係者や、つらい思いをしている患者さんに応援の花火を上げたい。」と、言っていました。
このニュースを見て、ぼくは、今この大変な中で、つらい思いをしている人や医りよう関係者にがんばってほしいと思いました。医りよう関係者のみなさん、これからもがんばってください。

コロナとたたかっているお医者さん 湯山 実咲

コロナがすごくはやってた時、ニュースを見て思いました。
お医者さんや看護師さんが、がんばっています。病院にはコロナにかかったかん者さんがいると思うのに、毎日、毎日、病院に通って仕事をしています。
(お医者さんや看護師さんは毎日、コロナと戦ってるんだな。コロナでいっぱい人を死なせたくない。)
と、思いました。自分でも、コロナになりたくないって思って、手洗いをじっくりしています。コロナが治るのもお医者さんたちのおかげだと思っています。

がんばれば病院で働く人たち 芹澤 一至

いつも、自分がいつかかるかわからないのにかん者優先で思いやりのあるお医者さんはすごいと思いました。
ぼくはコロナがこわくて、ただ家にいるだけでした。でもお医者さんは勇気があり、コロナに負けない心をもっています。
これからも、病気から、みんなを守れるようにがんばってください。

いつもありがとう 島津 優奈

いつも、お母さんとお父さん、私達のために、働いてくれて、ありがとうございます。
たまに、お母さんとケーキ作りをして、楽しかった。また、今度、いっしょに作ろうね。宿題を、教えてくれて、ありがとう。いつもごはんを作ってくれてありがとう。

お手伝い 鈴木 志緒理

わたしは、休校中に家のお手伝いでお米とぎをしました。お母さんにたのまれてやっていました。やってみると、時間がかかるし、いつまでといていれればいいのかわからなくて大変でした。でもお母さんに、
「もういいかな。」
と、聞いてやりました。終わるとお母さんが、
「ありがとう。」
と言ってくれて、うれしかったです。
たのまれなくてもまた、やりたいです。

コロナと戦う人 夕田 琉空

私は、「新型コロナウイルス」と戦っている人を応援しています。
最近のニュースは、悲しい事がいっぱいです。明るい話題が多く入ってきてほしいです。
お医者さんや、看護師が防護服を着ているすがたを見ました。病院関係の人もうつらないようにがんばりながらも、かん者さんを見ていて、私たちには、とてもできないと思いました。
新型コロナウイルスの感せんがおさまり、安全にすごせるまでがんばりたいと思います。

コロナと医りょう関係者

鈴木 友乃

私は、休校中に、テレビで、たくさんのニュースなどを見ていました。今、コロナウイルスで病院が大変な事になっています。でも、お医者さんなどが、がんばっていることが、「すごい、かっこいい。」と、思いました。

日ごろから、いろいろな事をやってくれている人がたくさんいて、命をかけてたたかってくれて、本当にうれしいと思いました。一日も早く、コロナが終わってほしいです。

医りょう関係者の方たちへ

重留 青波

医りょう関係者の方たちへ、こんなときにコロナウイルスと戦ってくれているのをぼくたちも知っています。ニュースを見てぼくはこう思いました。

「たくさんの医りょう関係のみなさんががんばっているんだな。」

と、ぼくもがんばろうと思うことができました。

これからも大変かもしれないけど、がんばってください。おうえんしています。

休校中の手伝い

伊倉 遙人

ぼくは、休校中に洗たく物をたたんだり、げん関をそうじしたり、花に水をやったりして、お母さんの大変さが分かりました。

洗たく物をたたんでいたら、たたんでいた服とかタオルがぐずれたり、花に水をやっているとホースがもどらなくなったりしました。だけど、全部の事を終わらせたなら、「やるじゃん。」

と、言ってもらえてやったかいがあったなと思いました。

お母さん、いつもありがとう

渡邊 日菜理

私は休校中に、ご飯を作ってくれるありがたみを感じました。

理由は、休校中のお昼ご飯です。私には、お兄ちゃんがいま。だから私が、お昼ご飯を作りました。オムライス・パスタ・ガーリックライスなどを作りました。毎日メニューを考えるのが大変でした。でも、お母さんが、

「すごいね。ありがとう。」

などと言ってくれたので、毎日がんばりました。毎日ご飯をなににするか、大変だけれど、毎日作ってくれるお母さんに感謝しています。

休校中に学んだこと

小杉 旬

学校が休校になって最初はやったと思いました。でも、四月に行く予定だった期間が、えん長してたいくつでした。また五月に行く予定だったけど、またえん長で、もううんざりで学校に行きたくなりました。やる事がぜんぜんなく、家族も大変でした。だから手伝いをしました。家族をつかれさせないために手伝いをしっかりやっています。

ニュースを見てコロナウイルスに感せんしている人がかわいそうです。病院の人たちもつかれているので早くコロナがなくなしてほしいです。

ありがとう医りょう関係者の皆さん

稲 勇氣

ぼくは休校中、家でニュースを見ていました。コロナウイルスのニュースでした。ニュースでは、治りょうにあたっている医者の人たちが映っていました。ぼくは、

「すごいなあ。」

と思いました。ウイルスが、まんえんする中でずっと働いていたからです。毎日、休まず働き続けている医者の人たちを見ると、すばらしい人たちだなと思います。医りょう関係者の皆様、本当にありがとうございます。

お母さんたちの大変さ

湯山 朱音

わたしのうちは、学校が休みのときは、ごはんをお母さんやおばあちゃんに作ってもらっていました。しかし、学校が休校になったのでごはんを自分で作らなければならなくなってしまいました。料理は大変でした。そこで、お母さんたちの大変さがわかりました。だから、作ってもらったごはんは残さず食べるようにしました。

「やってみないとわからない。」

という言葉を変えて感じた期間でした。

いつもありがとうお母さん

関根 彩華

私は休校中、両親が仕事に行っていたので家事のお手伝いをしました。やってみるとすごく大変でした。洗たくものは量が多いので二回にわけてやったり、そうじをしたり、皿洗いをしたりと時間もかかりました。でも、お母さんが、

「ありがとう。」

と、言ってくれました。そこで、私は、

(いつもこんなことをしているんだ、いつもありがとう。)

と、お手伝いしながら、感謝の気持ちを持つことができました。

お父さんに感謝

佐藤 周亮

ぼくは、ふだんは、お手伝いなどはあまりしていなかったけれど、

「お風呂洗ってくれない？」

と言われて、かんたんだらうと思っていたけれど、意外にむずかしくて、めんどくさかった。

でも、お父さんは、毎日それをやっていてすごいなと思った。

お手伝いをすると、

「ありがとう。」

と、と言われてとてもうれしかった。

ありがとう

加藤 綾菜

私は、休校中に色々なありがとうを見つけました。病院で働く人にありがとう。家族にありがとう。色々なありがとうがありました。

コロナウイルスがこわいと最初は思っていたけど、おばあちゃんがマスクを作ってくれました。病院で働く人は、コロナと戦いながらも、私たち国民を見守ってくれていました。

でも、ずっと見守ってもらっただけではいけないと思ったので、マスクを作ったりして支えました。マスクをして対策をしたいです。

家の人に感謝 岩田 弘喜

いつもマスクやご飯を作ってくれてありがとう。作ってくれたマスクはびったりでした。お手伝いをした時、最後に、「ありがとう。」

と、言ってくれたのがうれしかったです。

ご飯はいつもおいしかったです。これからも、おいしいご飯を作ってください。

お手伝いをがんばります。だから、ご飯などの家事をがんばってください。

病院で働く人たちへ 小見山 直歩

ぼくは、毎日ニュースを見てお医者さん、看護師さんは大変だなと思いました。

お医者さんや看護師さんはコロナウイルスにかかった人を治りようしないといけないので大変だったと思います。ある病院ではコロナウイルスにかかったお医者さんもいたのに、しんけんに治りようしていたところがかつこよくて、すごかったです。

コロナに負けないでがんばってください。ぼくも負けないようにがんばります。

休校中のありがとう 稲 千幸

いつも、お母さんが仕事後、せたく物をやっていて、それだけでもやってみようと思い、干して取りこみたたむところまでやったら、わりと大変でした。それでも、「すごい！えらいじゃん。」

と言ってもらえてうれしかったです。

それから、自主的に自分の仕事のようにやっていたら、お母さんも少しは楽になった気がします。お母さんだけじゃなく家族にも役立つようにしたと思いました。

ありがとうお医者さん、看護師さん 岩田 琴和

コロナウイルスは、こわくて、危険なウイルスです。病院では、かん者さんを見て、自分もウイルスにかかってしまうかもしれません。それでも、かん者さんを見る、という気持ちが、私は、

(すごいな。)

と感心しました。

これからも大切な命を救って、自分の命も大切にしてください。

おばあちゃんに感謝 渡辺 蒼太

ぼくは、休校中に洗たく物をほして、取りこんで、たたんで、かた付けるところまでをやりました。

おばあちゃんに、「ひまだったら洗たく物やってくれる？」

と言われたのでやりました。やってみると、意外と大変で時間がかかりました。

この休校期間で、いろいろなお手伝いをやりました。今まで、すべておばあちゃんがやってくれていたことだったので、大変さがよくわかり、感謝でいっぱいの期間でした。

家族 望月 規良

休校中、ぼくは、なまけてゲームばかりしていましたが、両親は、ごはんを作ってくれたり、宿題を手伝ってくれたりしました。

お父さんと自転車でちょうしがぶちに行きました。外に出て自然の空気が吸えてよかったです。思い出に残りました。

休校中に改めて感謝の気持ちを実感しました。手洗いもしました。皿洗いとふろ洗いをしたら

「ありがとう。」

と言われました。これからも手伝いをしていきたいです。

働く人へ 湯山 徠

わたしは、コロナウイルスのニュースを見ました。その時に病院で働く人を見て、おうえんの気持ちや感謝の気持ちが出てきました。

「がんばってください。」

「毎日ありがとうございます。」

など、いろいろな気持ちが出てきました。

その思いと自分には何が出来るかを考えました。うつらない、うつさないを心がけて毎日をすごしていました。

働く人、毎日ありがとうございます。

努力している人 湯山 涼太

ぼくは、ニュースで、コロナウイルスにかかった人を見ると大丈夫かなとよく思いました。それでも、コロナにかかった人は、努力して治そうとしていたり、医者も、コロナウイルスにかかった人を、必死で治そうとしているところを見ると、

(あきらめないで。)

と、無意識に思いました。

他にも、花火や応えんメッセージなどがあり、これからも、がんばれと思いました。

ありがとうの一言で 小見山 優菜

「おふろそうじやってもらってもいい？」

休校中、お母さんにたのまれました。私はその時あまり気が乗りませんでした。理由はお手伝いをするのが苦手だからです。でも、おふろそうじをすすめられて、仕方なくやりました。

その後、実際にやってみると、とてもかんたんですぐに終わりました。おふろ場を出ると、「ありがとう。助かったよ！」

お母さんにそう言われて、私はうれしくなり、苦手だったお手伝いが、大好きになりました。

ありがとうございます、おばあちゃん 岩田 麗羽

わたしは、休校中家で、お昼ごはんを作りました。おもに作ったのはオムライスです。

わたしはあまいたまごのオムライスがすきなので、おばあちゃんといっしょに作りました。おばあちゃんは、かんたんそうに作るけどいっしょに作ってみたら、二人でもすごく大変でした。その時、わたしは、

(こんなに大変なのを毎日やっているんだ！)

と思いました。だから、これからもたくさんお手伝いしたいです。

足柄小学校の仲間たち



1年生



2年生



3年生



4年生



5年生



6年生